

編集後記

三重看護学誌（MNJ）第11巻，このたび無事，発行することができました。これもひとえに，ご執筆いただいた方々，お忙しいなか査読して下さった先生方，原稿のとりまとめなど細やかなサポートをして下さった事務の方々のご協力があったからこそと，編集委員一同，心より感謝申し上げます。

2008年は急激な世界経済の悪化，オバマ大統領の誕生など記録にも記憶にも残る年となりました。日本でも不景気風が吹き荒れる中，医療崩壊が取りざたされ，医師・看護師不足が大きな問題となりました。看護学教育においても，実践力のある看護師を養成することが求められ，カリキュラム改正に奔走した年でした。

また，2008年は当看護学科の設置10周年にあたり，記念式典・記念講演の挙行，10周年記念誌の発行で節目の年を祝いました。記念事業として研究会の設立も検討されているところで，MNJも今後は研究会活動に合わせて，より充実させていくことがこれからの課題となります。全国誌へと飛躍するのか，それとも県内の連携を図り，地域に根ざした学術誌を目指すのか，来年度はMNJのあり方から検討する年となりそうです。

教育に研究にチャレンジが続きますが，MNJがその役割を果たし，看護学科とともに発展していくことを祈念しております。

（文責：大西香代子）